

単元名

**わたしのイチオシ、「APPARE！！安浦」について話そう！
(話したいな、わたしの好きな時間)**

男子 8名 女子 11名
計 19名

1 単元のデザイン

単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語における内容A話すこと・聞くこと(1)イ「相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。」を指導するために設定されたものである。
- 本教材「話したいな、わたしの好きな時間」は、「始め」「中」「終わり」の組み立てで話すことを学習してきている児童に、自分の好きなことについてスピーチする活動を通して、友達に伝えるためにどのような工夫をすればよいか考えさせ、話の中心として伝えたいことを決めさせたり、話の中心が聞き手に伝わるように話の組み立てを考えさせたりすることに適した教材である。
- 聞き手を意識して、言いたいことを詳しく伝えるために言葉の使い方や選び方を工夫することや、総合的な学習の時間に発見したふるさと安浦のいいところを関連付けてスピーチすることで、本校が目指す資質・能力を育むことができる。

児童の実態

- 本学級の児童は、朝の会で、日直がスピーチをするという経験をつんでいる。しかし、スピーチの内容が、自分の好きな事や物、その理由に留まる児童が全体の90%で、話す時間は1分に満たず、話の中心を意識して内容を組み立てることができる児童は、ごく少数である。事例を挙げて、詳しく話をするのできる児童はいない。
- 本学級の児童全員がふるさと安浦が好きだと答えている。地域の特産物にも興味をもっており、復興のシンボルであるマリーゴールドの花も、楽しみながら育てている。総合的な学習の時間に調べた安浦のいいところを伝えていきたいと考えている児童が100%である。
- スピーチが苦手と答えた児童は57%であり、その理由の多くが、1分間続かない、何を話しているのか分からないということであった。自分の話したいことの中心を考えて詳しく話を組み立てることに課題がある。

パフォーマンス課題について

○単元のゴールとして、様々な方法で安浦のいいところ「APPARE！！」について発信していくことを設定し、たくさんの人に安浦に来てもらえるようにするために、これまで調べたことや自分の気持ちを安浦「APPARE！！」発表会で語るというパフォーマンス課題とする。まず、総合的な学習の時間で、ふるさと安浦の魅力を知るために、地域の方をゲストティーチャーとして招き、呉市や安浦町について触れ、興味関心をもたせる。また、復興のシンボルマークとして被災マリーゴールドを広め、その花びらでハンカチを染め、広報活動に使用する。家族や町の人々に「安浦の魅力」と「災害の危険性」を同時に広めるために、どのように表現すれば伝わるのかを考え抜く活動を通して、子どもたちのふるさと、安浦のすばらしさ、安浦を守ろうとしている地域の人々の思いや願いを自分の言葉にしてスピーチすることができ、豊かな思考力・表現力が育成されると考える。

思考を深める指導のポイント

○安浦の「APPARE！！」について調べたことを整理したり、話の中心として伝えたいことを決めたり、話の組み立てを考えたりする時には、クラゲチャートなどの思考ツールを活用し、理由付けを行ったり、多様な理由や事例を比較・分類・関連付けて考えさせるようにする。そして、話の中心が同じであっても、理由や事例が人によって異なることにも気付かせていく。さらに、様子や行動、気持ちを表す言葉の語彙を増やし伝えたいことが伝わる語句を選ぶこと、また、聞き手を意識し、原稿ではなく聞き手の様子を見ながら話していることが十分相手に伝わっているか判断したり、聞き手の反応を見ながら話したりすることができるようにするために、タブレットでスピーチの様子を録画して振り返ったり、グループ内で相互評価したりしていくことで、豊かな表現力を身に付けさせていく。

2 単元の目標

- ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やして話の中で使うことができる。相手を見て伝わりやすいような話し方をすることができる。 【知識及び技能】
- ・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。 【思考力、判断力、表現力】
- ・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 【学びに向かう力、人間性】

3 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 ②相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	①相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。 ②話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫している。	①粘り強く話の構成を考え、今までの学習を生かして、安浦の好きなところを聞き手に伝えようとしている。

4 単元計画（全7時間）

次		学習内容	評価規準（評価方法）		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一	1	課題の設定 担任のふるさとのスピーチを聞き、スピーチに興味をもたせる。 パフォーマンス課題を設定し、学習課題を立てる。			
二	2	情報の収集 スピーチの話題を決めて、自分の好きな時間とその理由や気持ちを考え、話す材料を集める。 関連付ける 分類する		◎思①（ワークシート，発言）	
	3	整理・分析 話の中心を決め、材料の中から好きな事を選んで組み立てる。 比較する 関連付ける	○知①（ワークシート，発言内容）	◎思①（ワークシート，発言）	○態①（ノート，行動観察）
	4 (本時)	整理・分析 メモとスピーチ原稿を見比べながら、スピーチの構成を組み立てなおす。 比較する 関連付ける		◎思①（ワークシート）	
三	5	まとめ・創造・表現 話の組み立て方や、表現の仕方の工夫を見付け、自分の話し方を向上させる。 比較する 関連付ける	◎知①（スピーチ）	○思①（ワークシート）	◎態①（ワークシート，行動観察）
	6	まとめ・創造・表現 互いにスピーチを聞き合い、感想を伝えあう。	◎知②（スピーチ）	◎思②（スピーチ，ノート）	
	総合的な学習の時間	実行 パフォーマンス課題に取り組む。 ・発表会で安浦の好きなところをスピーチする。 ・聞き手の様子を見ながら話す。 ・自分の経験と比べながら聞き、感想を伝える。 ・いろいろな表現の仕方に挑戦し、よりよい思いや願いの伝え方について考える。			
振り返り 学習内容の振り返りをする。					

※指導に生かす評価を行う代表的な機会については「○」を、その中で特に学級全員の児童の学習状況について総括の資料にするために記録に残す評価を行う機会には「◎」を付けている。

5 本時の学習（本時4／6）

（1）本時の目標

話の中心が伝わりやすいスピーチになるよう、メモをもとに話の組み立てを考えることができる。 【思考・判断・表現】

（2）学習の流れ

	学習活動 (○主な発問・予想される児童の反応)	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
つかむ	<p>1 本時の学習が、パフォーマンス課題とどう繋がっているかを知る。 ○みんなの前で頭が真っ白にならないためには、どうしたらいいでしょうか。 ・メモを見たらいい。 ・文にすればいい。</p> <p>2 教師のスピーチを聞いて、児童の気付きを聞く。 ・ばらばらで分かりにくい。 ・始めに言いたいことをいっていない。</p> <p>3 めあてをつかむ。</p>	<p>・パフォーマンス課題とのつながりを確認する。</p> <p>・児童の目指すスピーチとのずれを感じさせ、めあてにつなげる。 ・1分間は話が続いたのに、どうして中心が伝わらなかったのか尋ね、本時のめあてに繋げるようにする。</p>	
	話の中心が相手につたわるように、スピーチを組み立てよう。		
考える	<p>4 組み立て方の予想を出し合う。 ・始め・中・終わりに組み立てる。 ・メモに番号を書き入れて読む順番を分かりやすくする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>仮説 メモに読む順番を書き加えて、始め・中・終わりを作れば、分かりやすいスピーチになる。</p> </div>	<p>・既習の説明文などが、始め・中・終わりであったことがわかるような掲示を用意しておく。</p> <p>・出された予想を整理し、課題解決に向けての視点をもたせる。</p>	
	学び合い①自分の考えをもつ	学び合い②比較、関連付けながら思考する	
	<p>5 教科書のメモと田中さんのスピーチを比較する。 比較する ○田中さんは、どうやってメモからスピーチを組み立てたのでしょうか。 【ポイント】 ①始め……問いかけ 好きなどころと理由 ②中……事例① 事例② ③終わり…思いや願い</p> <p>6 自分のメモとワークシートを関連付けながら、スピーチの組み立てを考える。 関連付ける</p>	<p>・児童が比較しやすいように、教科書のメモと田中さんのスピーチ原稿を隣り合わせにしたワークシートを用意する。</p> <p>・スピーチの中にはあって、メモにはないもの、またその逆に気付かせ、スピーチにするときのポイントを押さえていく。</p> <p>・ワークシートに書き込んだ順番や、「始め・中・終わり」の文章構成を、自分のメモと関連付けながら書き込ませていく。</p>	<p>分かりやすいスピーチになるように自分のワークシートにスピーチする順序を書き込み、組み立てている。 【思・判・表】 (ワークシート)</p>

<p>深める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話す順番に番号を書く。 ・「始め」「終わり」を書く。 ・一番伝えたいことに印を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモに話す順番に番号を書いたり，伝わりにくい材料は()を付けたりして印を付けたり，簡単なイラストを付け加えたりさせて，より分かりやすいメモにさせる。 	
<p>考えを再構成する</p>	<p>学び合い③考えを広げたり深めたりする</p> <p>7 自分や友だちのメモを見せ合い，友だちと意見を聞き合う。</p> <p>8 自分のスピーチメモの組み立てを見直して整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が書き足したスピーチの組み立てメモをロイロノートで共有し，自分のメモに足りない所や付け足したいところを再度見直させる。 ・友だちのよいところを真似して書き足したり，番号を見直したりさせる。 	
<p>振り返る</p>	<p>9 本時のまとめをする。</p> <div data-bbox="233 842 1198 1126" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>スピーチは，</p> <ul style="list-style-type: none"> ○始め・中・終わりで組み立てる。(メモにしるしをつける。) ○話の中心は，始めも終わりも言う。 ○始めは質問，終わりは思いや願いをくわしく言う。 </div> <p>7 学習を振り返る。</p> <p>○ 単元を貫く問い「どうすればスピーチで言いたいことを相手に伝えることができるだろうか。」を本時の学習を振り返り，パフォーマンス課題と関連付けて，クラス全員の前でスピーチすることを意識し，振り返りに書かせ，次時につなげる。</p> <div data-bbox="204 1335 740 1585" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>振り返り(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで，スピーチをするときに，始め・中・終わりは考えていなかったのだから，これからは考えていきたいと思った。 ・自分がスピーチをする日は，メモを書いて準備したい。 ・始めに，みんなに問いかけをしてからスピーチを始めた。 </div>	<p>9 本時のまとめをする。</p> <p>7 学習を振り返る。</p> <p>○ 単元を貫く問い「どうすればスピーチで言いたいことを相手に伝えることができるだろうか。」を本時の学習を振り返り，パフォーマンス課題と関連付けて，クラス全員の前でスピーチすることを意識し，振り返りに書かせ，次時につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の説明文の文章構成とスピーチの構成を関連付け，「始め・中・終わり」の構成方法が，説明文だけでなく，スピーチやお便りなど，いろいろな場面で使えることを捉える。 	

6 板書計画

